

中国思想中国哲学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター
中国思想特論Ⅰ	中国近世思想史研究(東西思想交流)	2	新居 洋子	前期 金曜2限
中国思想特論Ⅱ	中国中世の思想	2	齋藤 智寛	後期 月曜2限
中国思想特論Ⅲ	経学文献閲読法	2	橋本 秀美	前期 集中講義
中国思想史総合演習Ⅰ	中国思想研究上の諸問題 1	2	齋藤 智寛、新居 洋子	前期 金曜5限
中国思想史総合演習Ⅱ	中国思想研究上の諸問題 2	2	齋藤 智寛、新居 洋子	後期 金曜5限
中国思想文献研究演習Ⅰ	中国中世思想文献研究	2	齋藤 智寛	前期 月曜2限
中国思想文献研究演習Ⅱ	中国近世思想文献研究	2	新居 洋子	後期 金曜2限

科目名：中国思想特論 I

曜日・講時：金曜 2 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：新居 洋子

コード：LM15202, **科目ナンバリング：**LGH-PHI610J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国近世思想史研究（東西思想交流）

2・授業の目的と概要：大航海時代以降、東アジアとヨーロッパの間では、宣教師を仲介者とする思想交流が盛んになった。双方の心身観も、医療や解剖学、法医学に関するさまざまな書物や実践を通して、相互に伝わっている。本授業では、このような心身観の東西交流について、さまざまな一次文献や論文を通して学ぶことを目的とする。

3. 学習の到達目標：心身観の東西交流史の概要を把握する。
本テーマに関する基本史料および最新研究を把握する。
中国思想分野における学術論文執筆の要点を学ぶ。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

担当教官による講義を主とするが、参加者による関連史料や論文の読解も織り交ぜながら進める。

【進度予定】

1. 導入
2. 中国とヨーロッパの思想交流に関する基本情報
3. 東西思想交流における医療 1
4. 東西思想交流における医療 2
5. 東西思想交流における医療 3
6. 東西思想交流における解剖学 1
7. 東西思想交流における解剖学 2
8. 東西思想交流における解剖学 3
9. 東西思想交流における心・脳・魂 1
10. 東西思想交流における心・脳・魂 2
11. 東西思想交流における心・脳・魂 3
12. 東西思想交流における法医学 1
13. 東西思想交流における法医学 2
14. 東西思想交流における法医学 3
15. 東西思想交流における法医学 4

5. 成績評価方法：レポート（100%）

6. 教科書および参考書：毎回、担当教官が作成した資料を配布する。
また、関連する資料や論文は授業中に案内する。

7. 授業時間外学習：関連する史料や論文を読解し、資料にまとめてくる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。

科目名：中国思想特論Ⅱ

曜日・講時：月曜 2 限

開講学期：後期 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM21203, **科目ナンバリング：**LGH-PHI611J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国中世の思想

2・授業の目的と概要：中国および日本に残された写本を資料として、中国中世思想の内容および研究史、研究方法について解説する。

3. 学習の到達目標：写本資料の特性と、そこから読み取れる思想の内容について理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 敦煌文書概説
3. 敦煌文書に記された仏教 1
4. 敦煌文書に記された仏教 2
5. 大蔵経概説
6. 日本古写経に記された仏教 1
7. 日本古写経に記された仏教 2
8. 道蔵概説
9. 敦煌文書に記された道教 1
10. 敦煌文書に記された道教 2
11. 中世儒学概説
12. 敦煌文書に記された儒教 1
13. 敦煌文書に記された儒教 2
14. 日本古写本に記された儒教
15. 附論：馬王堆帛書について

5. 成績評価方法：レポート [100%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：紹介された書籍は出来るだけ読んでみることに。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想特論Ⅲ

曜日・講時：集中講義

開講学期：前期 単位数：2

担当教員：橋本 秀美

コード：LM98812, 科目ナンバリング：LGH-PHI612J, 使用言語：日本語・中国語

1. 授業題目：経学文献読法

2・授業の目的と概要：経学文献を作者の心の動きを探りつつ読む試みを紹介し、受講者にその面白さを感じてもらうことを目的とする。導入として、狭義の文献学に関しても、主観的認識が本質的意義を持つことを示す。その後、漢唐注疏を中心に実際の文献読解を行っていく。

3. 学習の到達目標：院生諸氏が経学文献の研究方法についてそれぞれの思索を深める契機を得ることを目標とする。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第一回 経部文献学概要の説明
- 第二回 版本の概要の説明
- 第三回 写本に関する議論
- 第四回 孝経鄭注の読解
- 第五回 孝経孔伝と述議の読解
- 第六回 唐宋以降の孝経について
- 第七回 論語鄭注の読解
- 第八回 論語集解と義疏について
- 第九回 日本の経学資料について
- 第十回 礼記正義の概要
- 第十一回 曲礼注の読解
- 第十二回 檀弓注の読解
- 第十三回 三礼疏について
- 第十四回 儀礼正義・周礼正義・求古録礼説・礼書通故について
- 第十五回 総合討論

5. 成績評価方法：成績は平常点（100パーセント）で評価します。

6. 教科書および参考書：教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。

7. 授業時間外学習：授業時間外の学修については、授業の中で適宜指示致します。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想史総合演習 I

曜日・講時：金曜 5 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛、新居 洋子

コード：LM15501, **科目ナンバリング：**LGH-PHI613J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 1

2・授業の目的と概要：受講者各自が中国思想、哲学についての研究テーマを選択して研究発表を行い、研究水準を向上させるとともに、明晰な表現力、質問に的確に答え、効果的に人を説得する能力も涵養する。さらには、他の受講生の発表への批評を通して、他者の意見を批判的に吟味する機会ともする。

3. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 顔合わせと趣旨説明
2. 発表と討議 (1)
3. 発表と討議 (2)
4. 発表と討議 (3)
5. 発表と討議 (4)
6. 発表と討議 (5)
7. 発表と討議 (6)
8. 中間まとめ
9. 発表と討議 (7)
10. 発表と討議 (8)
11. 発表と討議 (9)
12. 発表と討議 (10)
13. 発表と討議 (11)
14. 発表と討議 (12)
15. まとめ

5. 成績評価方法：発表内容[50%] 討論への参加状況[50%]

6. 教科書および参考書：教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

7. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から 1 時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には 1 週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想史総合演習Ⅱ

曜日・講時：金曜 5 限

開講学期：後期 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛、新居 洋子

コード：LM25501, **科目ナンバリング：**LGH-PHI614J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 2

2・授業の目的と概要：前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。

3. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 顔合わせと趣旨説明
2. 発表と討議 (1)
3. 発表と討議 (2)
4. 発表と討議 (3)
5. 発表と討議 (4)
6. 発表と討議 (5)
7. 発表と討議 (6)
8. 中間まとめ
9. 発表と討議 (7)
10. 発表と討議 (8)
11. 発表と討議 (9)
12. 発表と討議 (10)
13. 発表と討議 (11)
14. 発表と討議 (12)
15. まとめ

5. 成績評価方法：発表内容[50%] 討論への参加状況[50%]

6. 教科書および参考書：教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

7. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から 1 時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には 1 週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想文献研究演習 I

曜日・講時：月曜 2 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM11204, **科目ナンバリング：**LGH-PHI615J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国中世思想文献研究

2. 授業の目的と概要：梁・蕭統（501-531）の編『文選』より、思想史関連文献を選読する。『文選』本文と六臣注の読解を通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想的視点からの訳注を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『文選』会読 1
- 3、『文選』会読 2
- 4、『文選』会読 3
- 5、『文選』会読 4
- 6、『文選』会読 5
- 7、『文選』会読 6
- 8、『文選』会読 7
- 9、『文選』会読 8
- 10、『文選』会読 9
- 11、『文選』会読 10
- 12、『文選』会読 11
- 13、『文選』会読 12
- 14、『文選』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況 [100%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想文献研究演習Ⅱ

曜日・講時：金曜 2 限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：新居 洋子

コード：LM25208, 科目ナンバリング：LGH-PHI616J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国近世思想文献研究

2・授業の目的と概要：近年、近世中国とヨーロッパの思想交流は世界中で高い関心を集めているテーマであり、様々な言語で研究著作が生み出されている。こうした著作のうち、本授業では英文の研究書を輪読し、日本語訳稿を作成する。

3. 学習の到達目標：中国とヨーロッパの思想交流に関する基本資史料を把握する。
東西思想交流に関する主要な論点を把握する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

参加者は、担当箇所について日本語訳稿を作成し、全員に配布する。

【進度予定】

1. ガイダンス
2. 中国とヨーロッパの思想交流に関する研究史 1
3. 中国とヨーロッパの思想交流に関する研究史 2
4. 日本における最新研究 1
5. 日本における最新研究 2
6. 英文研究書の読解 1
7. 英文研究書の読解 2
8. 英文研究書の読解 3
9. 英文研究書の読解 4
10. 英文研究書の読解 5
11. 英文研究書の読解 6
12. 英文研究書の読解 7
13. 英文研究書の読解 8
14. 英文研究書の読解 9
15. 英文研究書の読解 10

5. 成績評価方法：資料の充実度（40%）、予習状況（40%）、討論での発言（20%）

6. 教科書および参考書：初回授業の際に案内する。

7. 授業時間外学習：毎回、該当箇所について予習し、自分でまとめた資料を作成すること。授業の後には、資料の改訂版を作ること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。